



取扱説明書

DUB275MP

DUB275MPB

**USBスロット搭載
2DIN CD/MP3/WMAレシーバー**

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	4
ご使用前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
取扱上のご注意	8
ご確認事項	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
CDの再生について	9
CDについて	9

本機の使用

■各部の名称とはたらき

本体部	10
モード別ディスプレイ表示	12
(別販)リモコン(RCB176)の使いかた	14

■基本の操作

電源を入れる	16
ソースを選ぶ	16
音量を調節する	16
ボタンカバーの開きかた	16
時刻を合わせる	17
音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能)	17
重低音を増強する(マグナベースEX機能)	17
表示を切り換える	18
パネルの照明色を設定する	19
オーディオモードを調整する(BASS,TREB,BAL,FAD)	20

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	21
受信バンドを切り換える	21
自動選局する(シーク選局)	21
手動選局する(マニュアル選局)	21
プリセット選局する	21
自動メモリーする(オートストア機能)	21
プリセットメモリーする	22
放送を確かめる(プリセットスキャン)	22
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	22

■CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて	23
ディスクを入れる	24
ディスクを取り出す	25
すでに入っているディスクを聴く	25
曲を選ぶ	25
早送り/早戻しする	25
再生を止める(一時停止)	25
最初の曲から聴く(トップ機能)	25
フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)	26
再生するファイルを切り換える (マルチセッション機能)	26
いろいろな再生(スキャン/リピート/ランダム演奏)	27

■設定を変更する(アジャストモード)

設定項目の選びかた	28
モード表示を設定する(KNOB LED)	28
スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)	28
タイトルスクロールを設定する(A-SCROLL)	29
ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)	29
携帯電話のスピーカー出力を設定する(TEL-SP)	29
携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL-SW)	29

外部機器の操作

■USBメモリーのオーディオファイルを聴く

※『曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/トップ機能/スキャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏/フォルダ選択モード』は、CDモードと同様の操作です。「CD/MP3/WMAを聴く」(25～27ページ)をご覧ください。

USBメモリーについて	30
USBメモリー取扱上のご注意	30
USBメモリーを接続する	31
接続されたUSBメモリーを聴く	31
再生を終了するには	31

■ポータブルオーディオを聴く

AUXを選ぶ	32
ポータブルオーディオの接続のしかた	32

その他

故障かな?と思ったら	33
エラー表示について	35
仕 様	36
アフターサービスについて	38

主な特長



■USB再生機能

- 市販のUSBメモリーに記録したMP3/WMAフォーマットのファイルが再生可能
- 最大12Mbpsの転送レートで、USB 1.1/2.0互換

■MP3/WMA再生機能

- MP3/WMAフォーマットで記録したCD-ROM、CD-R/RWが再生可能
- ISO9660レベル1,2、Joliet、Romeoに対応

■バリエーションカラー機能

- RGBカラーのLEDにより、フロントパネル全体を、728色にカラー調整ができます。(12色のプリセットカラーと3色のユーザーメモリー付)

■フロントパネル

- 高輝度LCDディスプレイ採用
- 大型ロータリーボリューム(モード表示付)採用

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■Z-エンハンサー機能

- 3つのイコライジングパターンで、お好みの音質を即座に設定

■マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MP3/WMAプレーヤー部

- ID3タグ、WMAタグ表示が可能
- CD-R/CD-RW再生対応
- スキャン/リピート/ランダム機能

■外部入力機能(AUX入力)

- AUX入力端子をフロントパネルに装備し、ポータブルオーディオの接続が可能

■リモートコントローラー対応

- 別販のリモコンで主なオーディオ操作が可能

■Bluetooth® トランシーバー 対応

- 別販のBluetooth® トランシーバー(BLT370)を接続して、ハンズフリー通話やオーディオストリーミングが可能

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…



前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 本機を分解したり、改造しない…



事故や火災、感電の原因となります。

- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…



事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

- ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…



火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…



そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…



車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れない…



けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用以外には使用しない…



感電やけがの原因となることがあります。

- 電源を切るときは、音量を最小にする…



電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…



火災の原因となることがあります。

- 本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…



専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

- マークのついたCDをご使用ください。

また、シースルーディスク(半透明CD)、ハート形や八角形など、特殊形状のCDはご使用しないでください。

- CD-R/RWで記録されたディスクでもご使用できない場合があります。

- 本機は、MP3/WMAフォーマットのファイルが再生できます。

- 本機のUSBスロットに接続をして再生できるUSBメモリーは、「USBマストレージクラス」準拠品です。

「USBマストレージクラス」準拠品であることをご確認のうえ、お買い求めください。すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

- 接続可能なUSBメモリーについては、クラリオンのホームページをご覧ください。または、お客様相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

- USBメモリーに関する取扱上のご注意については、「USBメモリーのオーディオファイルを聴く」(30ページ)をご覧ください。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(35ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDの再生について

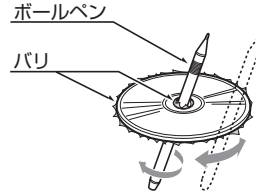
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

CDについて

■取扱上のご注意

- CD-R, CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。
- レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部



[SRC]ボタン

- 電源が入り、長押しすると電源が切れます。
- 各モードを切り換えます。



[COLOR]ボタン

- マルチカラーの表示色を切り換えます。
- ユーザーカラー選択時に長押しすると、カラー調整モードになります。



[DIRECT]ボタン

- ラジオモード時に放送局を呼び出します。
- 長押し(約2秒間)すると、放送局をメモリーします。



[SCN]ボタン

- CD/USBモード時に約10秒間ずつスキャン演奏をします。
- MP3/WMAディスク再生時/USBモード時に長押しすると、オールスキャン演奏をします。



[RPT]ボタン

- CD/USBモード時に繰り返し再生をします。
- MP3/WMAディスク再生時/USBモード時に長押しすると、オールリピート演奏をします。



[RDM]ボタン

- CD/USBモード時にランダム演奏をします。
- MP3/WMAディスク再生時/USBモード時に長押しすると、オールランダム演奏をします。



[F-UP], [F-DN]ボタン

- MP3/WMAディスク再生時/USBモード時にフォルダを切り換えます。
- マルチセッションCD再生時にディスクの種類を切り換えます。(マルチセッション機能)

CD挿入口

USBスロット
カバー

AUX入力端子

ボタンカバー



[BAND]ボタン

- ラジオモード時にバンドを切り換えます。また、長押しすると自動選局か手動選局に切り換えます。
- CD/USBモード時に最初の曲を再生します。(トップ機能)



[A-M]ボタン

- 音質/バランス/フェダー調整モードに切り換えます。
- 長押しするとマグナベースEX機能をON/OFFします。



[Z-EHCR]ボタン

- 3種類のイコライジングパターンを切り換えます。



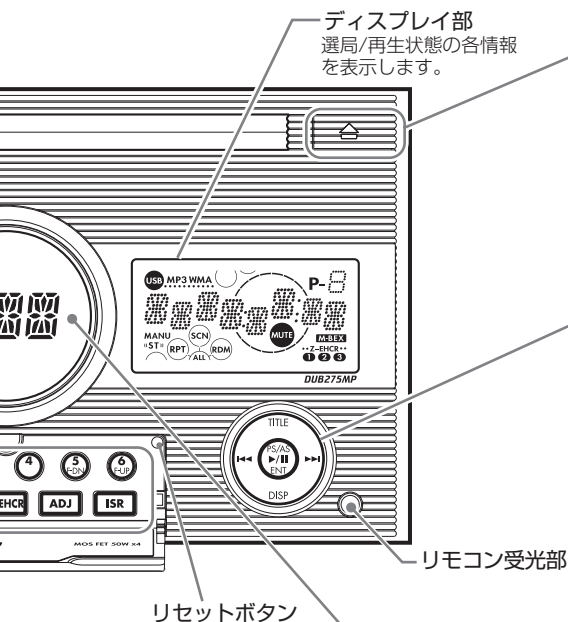
[ADJ]ボタン

- アジャストモードに切り換えます。



[ISR]ボタン

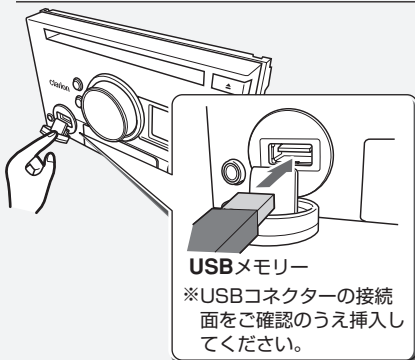
- どのモードにかかわらず、よく聴くラジオ局をすぐに呼び出します。(ISR機能)



[VOLUME]ノブ

- 音量を調節します。
- 各モードの表示をします。
- アジャストモード時に設定項目を決定できます。

■USBメモリの入れかた



[▲] (イジェクト)ボタン

- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。



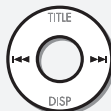
[DISP]ボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。



[TITLE]ボタン

- MP3/WMAディスク再生時/USBモード時にタイトル表示中に押すたびに、タイトル表示を切り換えます。
- タイトル表示中に長押しすると、スクロールします。



[◀◀], [▶▶] (サーチ)ボタン

- ラジオモード時の選局に使います。
- CD/USBモード時の選曲に使います。押し続けると、早送り/早戻しを行います。
- アジャストモード時に設定項目を選択できます。

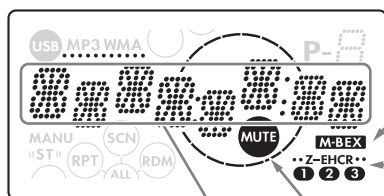


[▶/||] (プレイ/ポーズ)ボタン

- ラジオモード時にメモリーされた放送局を確認できます。(プリセットスキャン)
- 長押し(約2秒間)すると、自動的に放送局をメモリーします。(オートストア機能)
- CD/USBモード時に再生を一時停止します。
- 各種設定項目を決定できます。

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示



M-B EX :
マグナベース機能
ON時に点灯

Z-エンハンサー
選択時に点灯

MUTE :
消音時に点灯(リモコン使用時)

・[VOLUME]ノブ



・モード表示

FM(AM) : ラジオモード
CD : CDモード
USB : USBモード
AUX : AUXモード

切り換えるたびに、[VOLUME]ノブにモード表示をします。表示をさせたくない場合は、「モード表示を設定する(KNOB LED)」(28ページ)をご覧ください。

・ボリューム調整値表示 (V15)

タイトル表示部

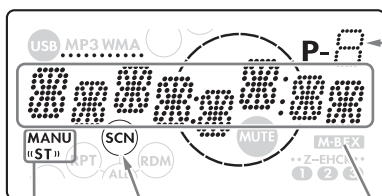
・タイトル表示

受信中の周波数やMP3/WMAディスクのタイトルなどを表示します。詳しくは、各モードの表示をご覧ください。

・スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。常に時計表示にしたい場合は、「OFF」に設定してください。詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(28ページ)をご覧ください。

■ラジオモード時の表示



プリセットNo.
インジケータ

プリセットスキャン時に点灯

・受信バンド/周波数表示

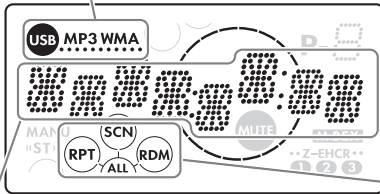
FM1 79.50 : FMバンド名と受信周波数
AM1 954 : AMバンド名と受信周波数

MANU : マニュアル選局に設定すると点灯

ST : ステレオ受信インジケータ

■CD/USBモード時の表示

MP3 : MP3再生時点灯
WMA : WMA再生時点灯
USB : USB再生時点灯



ALL : オールスキャン/リピート/ランダム演奏のときに点灯
SCN : スキャン演奏のときに点灯
RPT : リピート演奏のときに点灯
RDM : ランダム演奏のときに点灯

• **メイン表示**
 再生トラックNo./再生時間表示(分、秒)

• **タイトル表示選択時に表示**

…MP3/WMA/USBにおいてはフォルダ名、トラック名を表示
 表示モードを切り換えると、**アルバムTAG**、**アーティストTAG**、**タイトルTAG**の表示も可能です。詳しくは、18ページをご覧ください。

• **選曲切換時に表示(約2秒間)**

(CD再生時)

TRK SCN : スキャン演奏選択時
TRK RPT : リピート演奏選択時
TRK RDM : ランダム演奏選択時

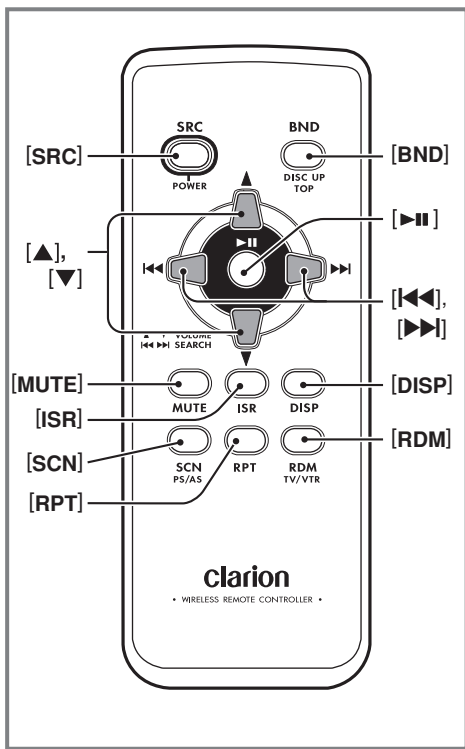
(MP3/WMA/USB再生時)

TRK SCN : スキャン演奏選択時
TRK RPT : リピート演奏選択時
TRK RDM : ランダム演奏選択時
ALL SCN : オールスキャン演奏選択時
ALL RPT : オールリピート演奏選択時
ALL RDM : オールランダム演奏選択時

• **その他の表示**

NO DISC : ディスクがないとき
ERROR : エラー発生時
PAUSE : 再生一時停止時

(別販)リモコン(RCB176)の使いかた



ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ (FM/AM) → CD → (USB) → AUX

- 約1秒間押し続けると、電源が切れます。

音量を調節する

[▲], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE] ボタン

- ラジオ時は、ミュート(消音)機能をON/OFFします。
- 再生を一時停止します。
(CD/MP3/WMA/USB時)

ISRメモリーを呼び出す

[ISR] ボタン

- モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオで[ISR]ボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のモードに戻すには、もう一度[ISR]ボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする

[SCN] ボタン

- スキャン演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- MP3/WMA/USB再生時に約1秒間押し続けると、オールスキャン演奏をします。
- ラジオ時には、プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン)
また、約2秒間押し続けると放送局を自動的にメモリーします。(オートストア機能)
- 解除するときには、もう一度[SCN]ボタンを押します。

繰り返し再生する

[RPT] ボタン

- 繰り返し再生します。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- MP3/WMA/USB時に約1秒間押し続けると、オールリピート演奏をします。
- 解除するときには、もう一度[RPT]ボタンを押します。

最初の曲から再生する/バンドを切り換える

[BND] ボタン

- 最初の曲から再生します。
- ラジオ時は受信バンドを切り換えます。

再生する**[▶||] ボタン**

- ラジオ時は、ミュート(消音)機能をON/OFFします。
- 再生を一時停止します。
(CD/MP3/WMA/USB時)

選曲する/選局する**[◀◀], [▶▶] ボタン**

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を再生します。
約1秒間押し続けると、早送り/早戻しをします。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ時)

表示を切り換える**[DISP] ボタン**

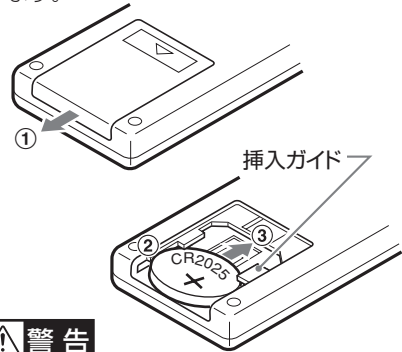
- 次のように表示を切り換えます。
メイン表示 → 時計表示
- CD/MP3/WMA/USB時の表示については、
「表示を切り換える」(18ページ)をご覧ください。

ランダム演奏する**[RDM] ボタン**

- ランダム演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- MP3/WMA/USB時に約1秒間押し続けると、
オールランダム演奏をします。
- 解除するときには、もう一度[RDM]ボタンを押します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。

**⚠ 警告**

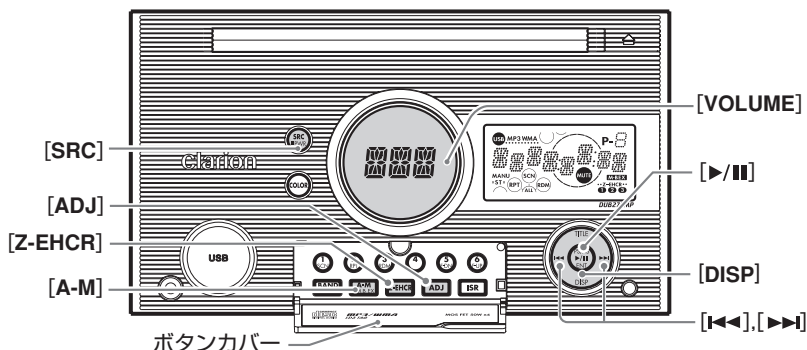
- リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、けがや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。
また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
- リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

基本の操作



電源を入れる

1 [SRC]ボタンを押す

ご注意

- ・バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

[SRC]ボタンを押し続けてください。
(約1秒間)

音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



⚠ 注意

- ・運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

ソースを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

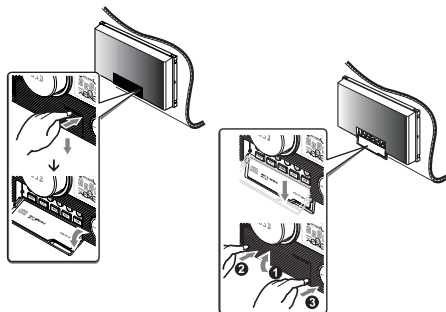
ラジオ (FM/AM) → CD → (USB) → AUX

■ [VOLUME]ノブのモード表示について…

切り換えるたびに、[VOLUME]ノブにモード表示をします。表示をさせたくない場合は、「モード表示を設定する (KNOB LED)」(28ページ)をご覧ください。

ボタンカバーの開きかた

1 ボタンカバーの右端[PUSH OPEN]を押す



ご注意

- ・ボタンカバーが強く押されて全開になった場合は、左右の②③部を押して元に戻してください。

時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON 時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

1 [ADJ]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK E**」などを表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、「**CLOCK E**」を選ぶ

3 ▶/⏸(プレイ/ポーズ)ボタンを押す

→調整時点「**PM 2:20**」などの時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、時または分を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

5 [VOLUME]ノブを回して、時刻を合わせる

6 ▶/⏸(プレイ/ポーズ)ボタンを押す

→時刻が設定されます。

ご注意

- 電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- 点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

7 [ADJ]ボタンを押して、元のモードに戻る

■常に時計表示するには…

[DISP]ボタンを押して、時計表示に切り換え、スクリーンセーバー機能を「OFF」に設定してください。設定については「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(28ページ)をご覧ください。

音質を簡単に設定する (Z-エンハンサー機能)

Z-エンハンサー機能について…

本機は、3つのイコライジングパターンをメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。
※初期設定は、「OFF」です。

1 [Z-EHCR]ボタンを押す

→Z-エンハンサーインジケーターが点灯します。

2 [Z-EHCR]ボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



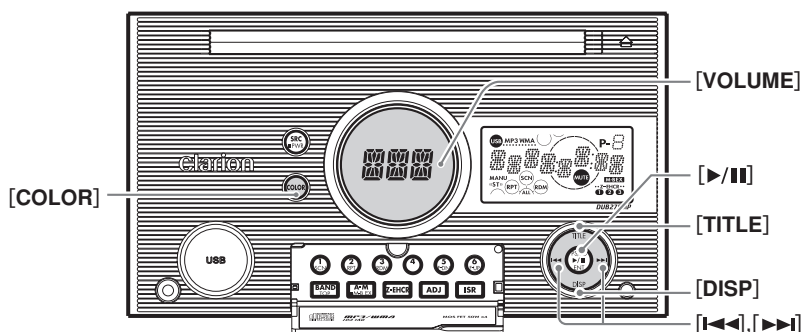
重低音を増強する (マグナベースEX機能)

1 [A-M]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→マグナベースEXがONになり、重低音が増強されます。

■マグナベースEX機能を解除するには…

もう一度、[A-M]ボタンを押し続けてください。

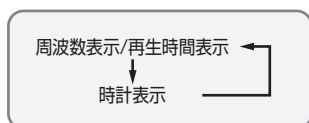


表示を切り換える

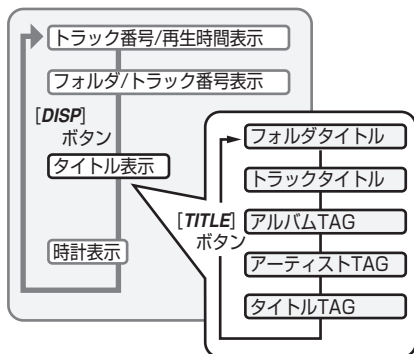
1 [DISP]ボタンを押して、表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

●ラジオモード/音楽CDのとき



●MP3/WMAディスク/USBモードのとき



■常に時計表示にするには…

時計表示に切り換えて、スクリーンセーバー機能を「OFF」に設定してください。設定については「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(28ページ)をご覧ください。

■MP3/WMA/USBのタイトル/TAG表示を切り換えるには…

タイトル表示のときに[TITLE]ボタンを押してください。

パネルの照明色を設定する

お好みに合わせて、フロントパネル全体の照明色を変更することができます。イルミネーションは、12色のプリセットカラー、および728色のカラー調整が可能です。お好みに合わせて表示色を選択してください。

※初期設定は、「COLOR SCAN」です。

1 [COLOR]ボタンを押して、表示色を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

1. COLOR SCAN (カラスキャン) ←
- ↓
2. INDIGO BLUE (インディゴブルー)
- ↓
3. SURF BLUE (サーフブルー)
- ↓
4. SILKY WHITE (シルキーホワイト)
- ↓
5. AQUA GREEN (アクアグリーン)
- ↓
6. FRESH GREEN (フレッシュグリーン)
- ↓
7. LEAF GREEN (リーフグリーン)
- ↓
8. WARM AMBER (ウォームアンバー)
- ↓
9. PASSION RED (パッションレッド)
- ↓
10. VIVID PINK (ビビッドピンク)
- ↓
11. PALE PINK (パールピンク)
- ↓
12. DARK VIOLET (ダークバイオレット)
- ↓
13. PURE PURPLE (ピュアパープル)
- ↓
14. U- COLOR 1 (ユーザーカラー-1)
- ↓
15. U- COLOR 2 (ユーザーカラー-2)
- ↓
16. U- COLOR 3 (ユーザーカラー-3)

■ユーザーカラーを設定する

お好みに合わせて、フロントパネル全体の照明色を調整することができます。ユーザーカラーメモリーは3つまで登録できます。

1 [COLOR]ボタンを押して、ユーザーカラー(U-COLOR1/2/3)を選ぶ

2 [COLOR]ボタンを押し続ける(約1秒間)

3 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、調整項目(R、G、B)を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

4 [VOLUME]ノブを回して調整する

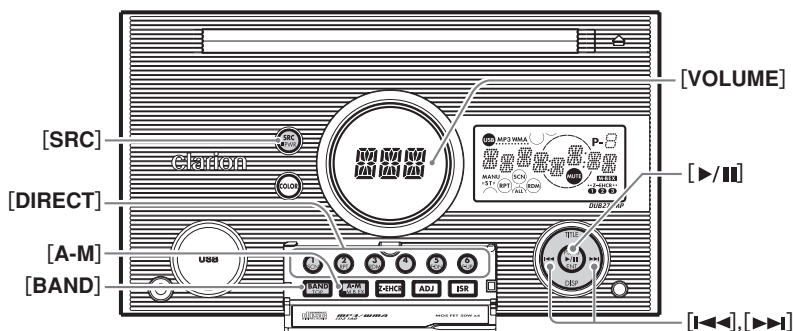
- 調整範囲は、0～8です。すべての調整値を0にすることはできません。

5 [▶/■](プレイ/ポーズ)ボタンを押す

→タイトル表示部に「MEMORY」を表示し、ユーザーカラーをメモリーします。

■プリセットカラー(初期設定値)

カラー	R	G	B
INDIGO BLUE(インディゴブルー)	0	0	8
SURF BLUE(サーフブルー)	0	4	8
SILKY WHITE(シルキーホワイト)	8	8	7
AQUA GREEN(アクアグリーン)	0	8	2
FRESH GREEN(フレッシュグリーン)	0	8	0
LEAF GREEN(リーフグリーン)	3	8	0
WARM AMBER(ウォームアンバー)	8	3	0
PASSION RED(パッションレッド)	8	0	0
VIVID PINK(ビビッドピンク)	8	0	3
PALE PINK(パールピンク)	8	2	3
DARK VIOLET(ダークバイオレット)	3	0	8
PURE PURPLE(ピュアパープル)	6	0	8
U- COLOR 1(ユーザーカラー-1)	8	8	8
U- COLOR 2(ユーザーカラー-2)	8	8	8
U- COLOR 3(ユーザーカラー-3)	8	8	8



オーディオモードを調整する(BASS, TREB, BAL, FAD)

BASS (低音部調整)/**TREB** (高音部調整)は、Z-エンハンサー機能がOFFのときに調整できます。

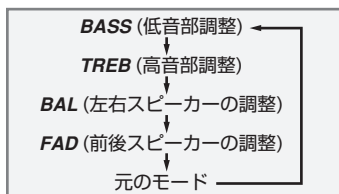
※初期設定は、「0」です。

ご注意

- オーディオモードを選択した後、約7秒間操作をしなかったときは、オーディオモードを解除して元に戻ります。

1 [A-M]ボタンを押して、調整項目を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

■低音(BASS)/高音(TREB)の調整



■左右のスピーカー音量(BAL)の調整



■前後のスピーカー音量(FAD)の調整



3 [A-M]ボタンを押して、元のモードに戻る

ラジオを聴く

ラジオを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ (FM/AM) → CD → (USB) → AUX

受信バンドを切り換える

1 [BAND]ボタンを押す

→押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、[BAND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、[BAND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、放送のあるところに合わせる

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 [DIRECT](1~6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに受信周波数とプリセットNo.を表示します。

ご注意

- [DIRECT]ボタンを押し続ける(約2秒間)とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 [BAND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

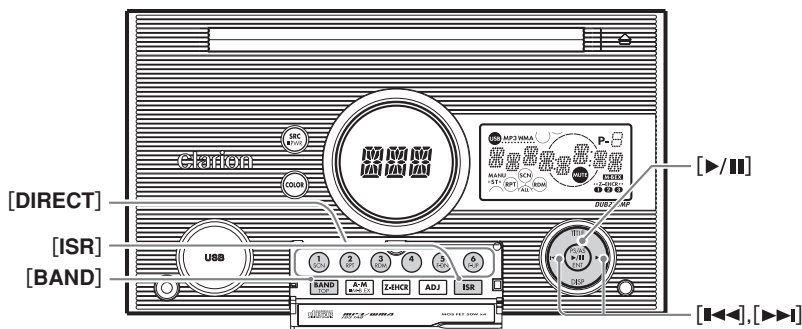
2 [▶/III](プレイ/ポーズ)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局が[DIRECT](1~6)ボタンに登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。



プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

- 1 [BAND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ
- 2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ
- 3 メモリーさせたい[DIRECT](1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→押した[DIRECT](1～6)ボタンに登録されます。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

- 1 [▶/II](プレイ/ポーズ)ボタンを押す

→タイトル表示部にプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- [▶/II](プレイ/ポーズ)ボタンを押し続ける(約2秒間)と、オートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[▶/II](プレイ/ポーズ)ボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局になります。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

- 1 [ISR]ボタンを押す

→ディスプレイに「ISR 1620」を表示します。

■元のモードに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンまたは[SRC]ボタンを押してください。

■ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[ISR]ボタンを押し続けて(約2秒間)ください。

→ISRにメモリーされます。

CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- ・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- ・WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出されません。タイトル表示部に「――：――」と点滅表示します。
- ・Windows Media™、およびWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

- ・Windows Media Player 10/11ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●MP3/WMAディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(36ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ・ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。
- ・MP3/WMAデータでないファイルは再生できません。タイトル表示部に「――：――」と点滅表示します。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- ・MP3/WMAファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1,2)」、Joliet、Romeo」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- ・MP3/WMA再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、半角英数/記号(ASCII)までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- ・同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

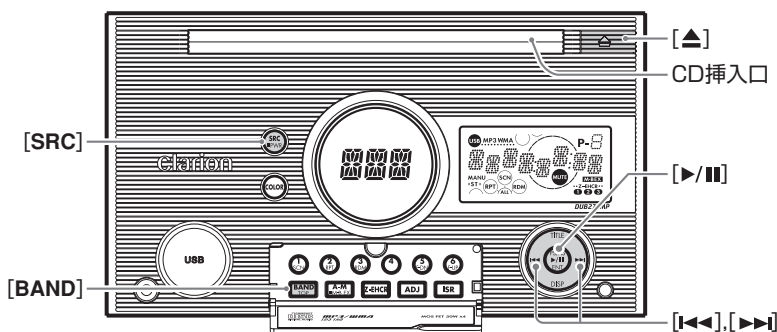
- ・TAGのないMP3/WMAフォルダは「**NO TAG**」が表示されます。
- ・MP3の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.4/2.3/2.2を優先します。
- ・WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。
- ・TAGで表示可能な文字は、半角英数/記号(ASCII)です。

フォルダ階層

- ・フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

ファイル数/フォルダ数

- ・ファイル数、フォルダ数は、最大で255までの再生が可能です。
- ・曲の再生はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません。)
- ・記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。



ディスクを入れる

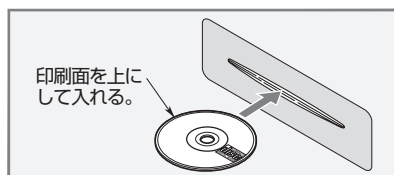
ディスクインプレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

1 CD挿入口にディスクを入れる



→ディスクを入れると、再生がはじまります。

ご注意

- ファイナライズされていないディスクの場合、ディスクの読み込みに長い時間がかかりますので、ファイナライズしたディスクを使用してください。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも
[▲]ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [▲]ボタンを押す

→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CDモードを選ぶ

→CDモードになると、自動的に再生がはじまります。

ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。

ラジオ (FM/AM) → CD → (USB) → AUX

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[▶▶]ボタンを押す

前の曲を聴くときは、[◀◀]ボタンを2回押す

→[▶▶]ボタンを押すと、次の曲が再生されます。また押した回数だけ先の曲が再生されます。

[◀◀]ボタンを押すと、再生中の曲を最初から再生します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が再生されます。

- 曲の頭部分を再生しているときに
[◀◀]ボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、[▶▶]ボタンを押し続ける

早戻しするときは、[◀◀]ボタンを押し続ける

- MP3/WMAディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、再生時間表示に誤差が生じる場合があります。

再生を止める(一時停止)

1 [▶||] (プレイ/ポーズ) ボタンを押す

→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■続けて再生を聴きたいときには…
もう一度、[▶||] (プレイ/ポーズ) ボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

再生しているディスクの最初の曲から再生をはじめます。

1 [BAND]ボタンを押す

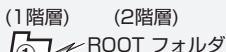
→最初の曲(トラックNo.1)から再生されます。



MP3/WMAディスク再生時、MP3/WMAファイルのあるフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

1 [F-DN], [F-UP]ボタンを押す

→5(F-DN)を押したときは前のフォルダに、
6(F-UP)を押したときは次のフォルダに移
ります。



通常のCDタイプの曲とMP3/WMAタイプの曲が混在しているディスクのときに、再生するファイルを選択できます。

1 CDタイプとMP3/WMAタイプが混在するディスクを入れる

→CDタイプの曲が最初に再生されます。

2 MP3/WMAタイプのファイルを再生するには、[F-UP]ボタンを押す

→MP3/WMAタイプのファイルを再生します。(MP3/WMAインジケータ点灯)

3 CDタイプの再生に戻るには、[F-DN] ボタンを押す

いろいろな再生(スキャン/リピート/ランダム演奏)

■聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

CDに収録されている全曲を10秒間ずつ再生します。

1 [SCN]ボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、再生している曲の次の曲からはじまります。

■聴きたいフォルダを探す (オールスキャン演奏)

MP3/WMAディスク内のすべてのフォルダの最初の曲を約10秒間ずつ再生します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**SCN**」が点灯して、オールスキャン演奏をします。

■曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

再生中の1曲を繰り返し再生します。

1 [RPT]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

■フォルダ内の曲を繰り返し聴く (オールリピート演奏)

再生中のMP3/WMAフォルダ内の曲を繰り返し再生します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RPT**」が点灯して、オールリピート演奏をします。

■ランダムに再生する(ランダム演奏)

CDに収録されている全曲を順不同に再生します。

1 [RDM]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ランダムに再生する (オールランダム演奏)

MP3/WMAディスク内すべてのフォルダの曲を順不同に再生します。

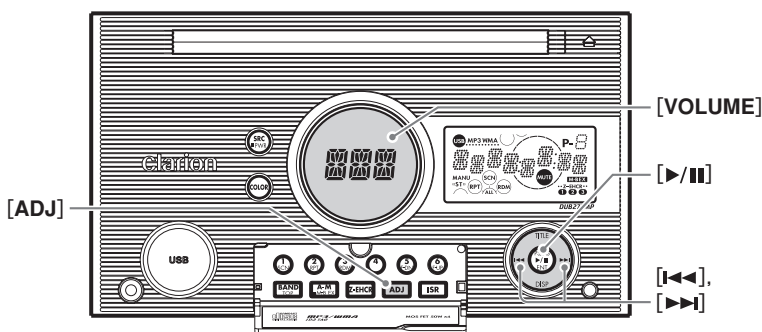
1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RDM**」が点灯して、オールランダム演奏をします。

■再生をキャンセルするには

1 もう一度、同じ再生ボタンを押す

設定を変更する(アジャストモード)



設定項目の選びかた

1 [ADJ.]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK E**」などを表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



- ・設定項目に「**E**」表示があるときは、[▶/||](プレイ/ポーズ)ボタンを押して調整内容を表示します。

■設定を終えたら…

[ADJ.]ボタンを押してください。

モード表示を設定する(KNOB LED)

[VOLUME]ノブに表示されるモード表示を表示させないようにできます。
※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「KNOB LED」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- ・ **ON** : 表示します。
- ・ **OFF** : 表示がOFFになります。

スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

ディスプレイに時計表示などを常に表示させておきたい場合は、「OFF」に設定してください。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「SCRN SVR」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- ・ **ON** : スクリーンセーバー機能がONになります。再生表示などの状態で何も操作しないと、スクリーンセーバー表示となります。
- ・ **OFF** : スクリーンセーバー機能がOFFになります。

タイトルスクロールを設定する(A-SCROLL)

MP3/WMA/USBのファイルに記録されたタイトル表示をスクロールすることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「A-SCROLL」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **ON** : 自動でスクロールを繰り返します。
- **OFF** : スクロールをOFFにします。しかし、曲が切り換わるたびに、1回のみスクロールします。その後は、[TITLE]ボタンを押し続ける(約1秒間)と、タイトルがスクロールします。

ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

本機に接続された市販のポータブルオーディオの入力レベルを設定します。

※初期設定は、「MID」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「AUX SENS」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **LOW** : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- **MID** : 通常レベルのとき
- **HIGH** : 入力レベルが低いとき(スピーカー音声小さいとき)

携帯電話のスピーカー出力を設定する(TEL-SP)

携帯電話の割り込み機能が「ON」に設定されているときに、電話音声为本機のスピーカーから出力されます。通話時のハウリング防止のため、運転席と反対側のスピーカーを選択してください。

※初期設定は、「LEFT」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「TEL-SP」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **RIGHT** : 右側のスピーカーから出力
- **LEFT** : 左側のスピーカーから出力

ご注意

- Bluetoothトランシーバー (BLT370) の(L/R)設定も同じ方向にしてください。

携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL-SW)

携帯電話を別販の接続ユニットを介して接続すると、本機のスピーカーから携帯電話音声を聞くことができます。

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定の選びかた』の手順で「TEL-SW」を選ぶ

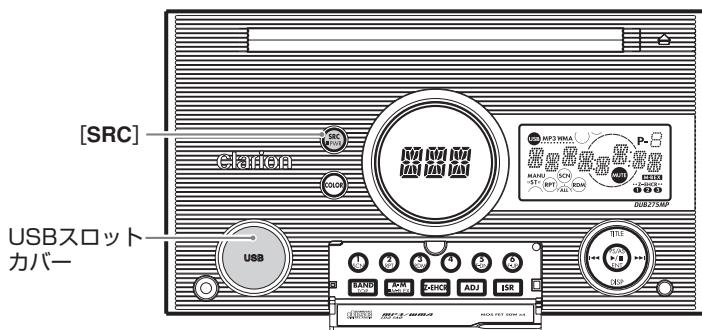
2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **OFF** : 割り込みしません。
- **ON** : 携帯電話音声は本機のスピーカーから再生されます。また、音量は[VOLUME]ノブで調整することができます。
- **MUTE** : 本機から再生音は出ません。

ご注意

- Bluetoothトランシーバー (BLT370) を接続するときは、この機能を「ON」に設定してください。

USBメモリーのオーディオファイルを聴く



<USBの操作について>

次の操作はCD/MP3/WMAと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- トップ機能
- フォルダ選択モード
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMAを聴く」(25～27ページ)をご覧ください。

USBメモリーについて

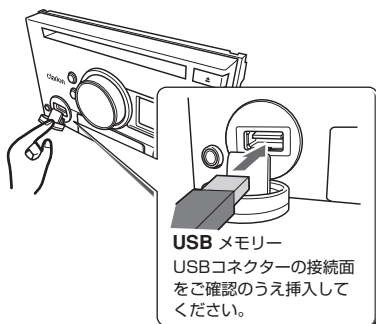
- USBはユニバーサル・シリアル・バスの略称で、12Mbpsのデータ転送レートをサポートする外部バスの標準です。
- 本機は最大12Mbpsの転送レートで、USB 1.1/2.0互換です。
- 本機のUSBスロットに接続をして再生できるUSBメモリーは、「**USBマストレージクラス**」準拠品です。
※「USBマストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。
- USBメモリーは、「USBマストレージクラス」準拠品であることをご確認のうえ、お買い求めください。すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- 接続可能なUSBメモリーについては、クラリオンのホームページをご覧ください。または、お客様相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

USBメモリー取扱上のご注意

- 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMAファイルのみです。詳しくは「MP3/WMAについて」(23ページ)をご覧ください。再生可能なファイル数、フォルダ数、サンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(36ページ)をご覧ください。
- 著作権保護されたWMAファイルは、本機による再生はできません。
- 記録されているデータを消失してしまったための、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- 本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USBハブを介して接続することもできません。
- USBメモリーを本体に挿入すると突起物となり、運転中に何らかの危険を及ぼす場合があります。市販のUSB延長ケーブルを使用し、安全な接続方法でご使用ください。また、装着中は、USBメモリーに負荷をかけないでください。
- USBメモリーを車内に放置しないでください。直射日光や高温などの影響により、USBメモリーが変形したり故障する場合があります。

USBメモリーを接続する

1 USBスロットカバーを開ける



2 電源「ON」中に、USBスロットにUSBメモリーを挿入する

→挿入すると、USBモードになり自動的に再生が始まります。

ご注意

- USBメモリーの挿入は、電源がONの状態のときに行ってください。OFFの状態で行うと、認識しない場合があります。USBメモリーを認識しない場合は、[SRC]ボタンを押してUSBモードを切り換えてください。
- USBメモリーは、コネクターの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全な場合、USBメモリーを認識しないことがあります。

接続されたUSBメモリーを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、USBモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。USBモードになると、前回停止したところから再生が始まります。

ラジオ (FM/AM) → CD → (USB) → AUX

ご注意

- USBメモリーが接続されていないときは、USBモードは表示されません。

再生を終了するには

1 [SRC]ボタンを押して、USBモード以外のモードに切り換える

ご注意

- USBメモリーの抜くときは、USBメモリーがアクセスしていないときに行ってください。USBメモリーのデータが破損する場合があります。貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。

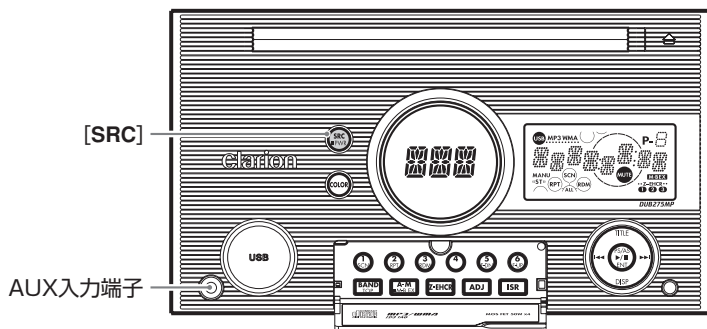
2 USBスロットからUSBメモリーを取り外す

3 USBスロットカバーを閉じる

ご注意

- USBメモリーを取り外した場合、破損防止のためUSBスロットカバーは閉じてください。

ポータブルオーディオを聴く



AUXを選ぶ

AUXについて…

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

1 [SRC]ボタンを押して、AUXモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。接続されたポータブルオーディオの操作を行うことで再生できます。

ラジオ (FM/AM) → CD → (USB) → AUX

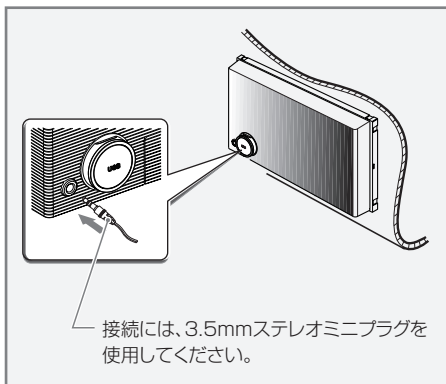
ポータブルオーディオの接続のしかた

AUX入力接続のしかた…

市販のステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルのAUX入力端子へ接続してください。

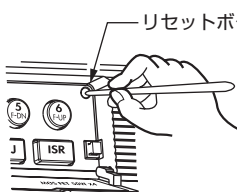
ご注意

- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。



故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	電源をOFFした後、リセットボタンを細い棒などで約2秒間押してください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリーなどがすべて消えますので、もう一度設定し直してください。
ラ ジ オ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
C D ／ M P 3 ／ W M A	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。

故障かな？と思ったら

	現 象	原 因	処 置
C D M P 3 W M A	音がでない	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがある	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
U S B	音がでない	USBにMP3/WMAファイルがない	USBにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイルがDRM(著作権保護)されている	DRM(著作権保護)の解除方法(23ページ)を参照して、解除してください。
		コネクターの接続が悪い	USBを抜き差しして、接続を確実にしてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	USBメモリーが認識されない	USBが破損している	USBを抜き差ししてください。それでも認識しない場合には、新しいUSBメモリーと交換してください。
		コネクターの接続が悪い	
	USBメモリーが挿入できない	USBの挿入方向が間違っている	USBの向きを変えて挿入してください。(一般的にブランドなどの表示面を左側にして挿入します。)
		USBのコネクターが破損している	新しいUSBと交換してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
C D ・ M P 3 ・ W M A	ERROR 2	本機にディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	本機のメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR 3	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
	NO FILE	ディスクにオーディオファイルがないとき	オーディオファイルが保存されたディスクと交換してください。
U S B	MNT ERR	USBメモリーの読み込みエラーのとき	USBメモリーをもう一度抜き差ししてください。
		書き込み防止スイッチ付USBメモリーで、このスイッチがONになっているとき	書き込み防止スイッチをOFF(書き込み可能)に切り換えてください。
	NO FILE	USBメモリーにオーディオファイルがないとき	オーディオファイルが保存されたディスクと交換してください。
	USB ERR	USBコネクタがショート/USBメモリーがオーバーロード	USBメモリーを取り外した後、[SRC]ボタンを押して電源をOFFする。もう一度[SRC]ボタンを押して電源をONしてください。

上記以外エラーが表示されたときは、33ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

その他

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 10Hz~20kHz±1dB
SN比 : 85dB(1kHz) IHF-A
ダイナミックレンジ : 80dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.01%

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 11dBf
50dBクワイティンク感度 : 17dBf
SN比 : 70dB
周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 25dBμV
SN比 : 50dB

■MP3/WMA部

フォルダ構造 : 8階層
ファイル数/フォルダ数 : 最大255
ファイル名/フォルダ名 : 最大28byte(1byte文字で28文字)
論理フォーマット : ISO9660レベル1,2/Joliet/Romeo

(MP3ディスク)

MP3デコード : MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー3準拠

サンプリングレート(kHz)

MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 12

ビットレート(kbps/VBR)

MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

(WMAディスク)

サンプリングレート(kHz) : 8, 16, 22.05, 32, 44.1

ビットレート(kbps/VBR) : 48, 64, 80, 96, 128, 160, 192

■USB部

最大転送レート12MbpsでUSB1.1/2.0互換
フォルダ構造 : 8階層
ファイル数 : 最大15,000
フォルダ数 : 最大255
ファイル名/フォルダ名 : 最大28byte(1byte文字で28文字)

(MP3)

MP3デコード : MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー3準拠

サンプリングレート(kHz)

MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 12

ビットレート(kbps/VBR)

MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

(WMA)

サンプリングレート(kHz) : 8, 16, 22.05, 32, 44.1

ビットレート(kbps/VBR) : 48, 64, 80, 96, 128, 160, 192

■AUX部

入力感度

LOW : 2.66V(2V出力時)
MID : 1.83V(2V出力時)
HIGH : 1.20V(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力 : 19W×4(20Hz~20kHz、1%、4Ω)

最大出力 : 50W×4

適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)

トーンコントロール

BASS : ±14dB (100Hz)
TREBL : ±14dB (10kHz)

マグナベースEX :

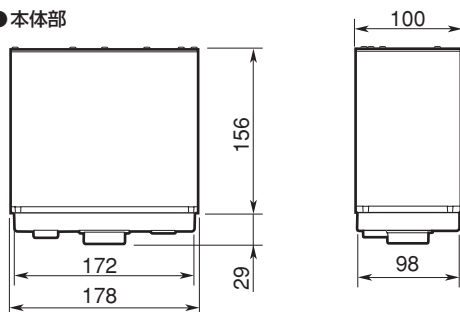
+10dB(50Hz) (音量ステップ 14)

ラインアウト出力レベル : 1.8V(CD1kHz)

■共通部

電源電圧 : DC14.4V
 接地方式 : マイナス接地
 消費電流 : 3.0A(1W時)
 ヒューズ定格 : 15A
 外形寸法 :
 178(W)×100(H)×185(D)mm
 [取付寸法 : 156(D)mm]
 質量 : 1.7kg

●本体部



■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 8本
- サラネジ(M5×8) 8本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。所在地と電話番号は、本機に付属の修理相談窓口リストをご覧ください。

クラリオン株式会社

本社事務所

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2

Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとで問い合わせされるときに便利です。